



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月13日

上場会社名 株式会社アゴーラ・ホスピタリティーズ・グループ
 コード番号 9704 URL <http://www.agorahospitalities.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) リム・キム・リン
 (氏名) 佐藤 暢樹

TEL 03-3436-1860

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	3,879	15.2	227	—	114	—	△230	—
26年12月期第2四半期	3,366	△0.6	△45	—	△139	—	△195	—

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 △233百万円 (—%) 26年12月期第2四半期 △221百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	△0.84	—
26年12月期第2四半期	△0.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	17,086	7,631	44.3
26年12月期	17,430	7,875	44.7

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 7,562百万円 26年12月期 7,788百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年12月期の配当は未定とさせていただきます。

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	6.6	430	241.3	330	28.4	△150	—	△0.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期2Q	274,738,934 株	26年12月期	274,638,934 株
② 期末自己株式数	27年12月期2Q	171,995 株	26年12月期	171,017 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期2Q	274,500,574 株	26年12月期2Q	273,992,296 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策と金融緩和策による景気の下支え効果を背景に、15年ぶりに日経平均株価が2万円台を回復するなど緩やかな回復基調が続き、2015年上期の訪日外客数は913万人を超過するなど外国人観光需要の期待等がみられましたが、欧州のギリシャ危機再燃や、中国本土における株式市場の軟化、過度な円安による国内の物価上昇による個人消費の停滞といった先行きの不安材料もあり、依然として不透明な状況が続きました。

そのようななか、当社グループにおける当第2四半期連結累計期間の連結業績は、好調な外国人観光需要を追い風に、ホテル事業の売上高は増加し、前年同四半期を上回る3,879百万円(前年同四半期比15.2%増)となり、利益面では、宿泊事業部門における施設間の共通業務一元化並びに霊園事業部門および証券投資事業部門の利益貢献等により、営業利益は227百万円(前年同四半期は営業損失45百万円)となりましたが、営業外損失として当社の保有する豪ドル建て資産に係る為替差損等を計上したことにより経常利益は114百万円(前年同四半期は経常損失139百万円)となりました。また、特別損失として過年度決算の訂正に係る課徴金の引当金を含む費用等208百万円を計上したことに加え、ホテル資産保有を目的とした匿名組合における共同出資者に対する収益分配部分として匿名組合損益分配額119百万円を計上したことにより、四半期純損失は230百万円(前年同四半期は四半期純損失195百万円)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① 宿泊事業

宿泊事業部門におきましては、外国人宿泊者の増加により、売上高は前年同四半期を上回る3,309百万円(前年同四半期比12.3%増)となり、利益面では、引き続き施設間の共通業務一元化を推し進めた結果、営業利益は182百万円(前年同四半期は営業損失18百万円)となりました。

② 住宅等不動産開発事業

住宅等不動産開発事業部門におきましては、引続き入居率の維持確保に努めましたが、売上高は前年同四半期を下回る139百万円(前年同四半期比6.0%減)となり、利益面では賃貸資産の維持管理費用等の上昇により営業利益は65百万円(前年同四半期比18.8%減)となりました。

③ 霊園事業

霊園事業部門におきましては、マレーシアの堅調な経済成長を背景に販売単価が向上したことに加え、個人の墓所志向の高まりにより、売上高は大幅に増加し392百万円(前年同四半期比44.6%増)となり、また、利益面では販管費の増加を抑制したことにより、営業利益は32百万円(前年同四半期比1,570.0%増)となりました。

④ 証券投資事業

証券投資事業部門におきましては、期末にかけて弱含んだ中国本土における株式市場の影響があったものの、香港株式市場の底堅い株価の推移を背景に、当社が保有・運用する外貨建ての外国証券に係る評価益を計上したことなどにより、営業利益は37百万円(前年同四半期は営業損失7百万円)になりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2.0%減少し、17,086百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.4%減少し、3,462百万円となりました。これは、売掛金が65百万円、現金及び預金が45百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.4%減少し13,577百万円となりました。これは、建物及び構築物が102百万円、のれんが46百万円、長期貸付金が33百万円減少したことなどによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少し、9,455百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.3%減少し、3,559百万円となりました。これは、買掛金が44百万円、1年内返済予定の長期借入金が60百万円、過年度調査等諸費用引当金が60百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.5%減少し、5,895百万円となりました。これは、長期借入金が45百万円、匿名組合出資預り金が47百万円減少したことなどによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.1%減少し、7,631百万円となりました。これは、利益剰余金が230百万円減少したことなどによります。

③キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ44百万円増加し、1,513百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は97百万円(前年同四半期は117百万円の獲得)となりました。

これは主に仕入債務の減少額37百万円、開発事業支出金の増加額29百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は32百万円(前年同四半期は39百万円の使用)となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出54百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は103百万円(前年同四半期は137百万円の使用)となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出106百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の業績予想につきましては、現在までの業績を踏まえ、平成27年4月30日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成27年8月12日に公表いたしました「特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,545,255	1,499,267
売掛金	396,612	331,317
有価証券	413,499	440,863
貯蔵品	85,499	56,056
開発事業等支出金	617,979	610,842
その他	531,225	530,229
貸倒引当金	△4,180	△5,577
流動資産合計	3,585,890	3,462,999
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,950,398	3,847,778
車両運搬具(純額)	18,018	23,798
工具、器具及び備品(純額)	55,633	54,672
土地	3,306,726	3,306,726
住宅用賃貸不動産(純額)	4,656,531	4,637,262
有形固定資産合計	11,987,307	11,870,238
無形固定資産		
借地権	5,000	5,000
商標権	4,311	4,059
ソフトウェア	25,830	22,155
ソフトウェア仮勘定	-	1,261
のれん	1,182,188	1,135,259
電話加入権	946	946
無形固定資産合計	1,218,277	1,168,682
投資その他の資産		
投資有価証券	43,381	41,427
長期貸付金	454,644	421,210
その他	70,907	75,642
投資その他の資産合計	568,933	538,279
固定資産合計	13,774,518	13,577,200
繰延資産	70,444	46,124
資産合計	17,430,853	17,086,324

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	331,364	286,519
1年内返済予定の長期借入金	1,622,235	1,561,809
未払金	961,942	966,870
未払費用	25,972	13,950
未払法人税等	31,520	34,280
賞与引当金	-	25,025
ポイント引当金	874	649
過年度調査等諸費用引当金	60,000	-
課徴金引当金	-	137,910
その他	538,240	532,738
流動負債合計	3,572,149	3,559,754
固定負債		
長期借入金	2,544,692	2,498,830
匿名組合出資預り金	2,776,659	2,728,733
長期預り保証金	604,661	607,295
繰延税金負債	5,731	3,606
その他	51,432	56,927
固定負債合計	5,983,177	5,895,394
負債合計	9,555,326	9,455,148
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,423,372	11,424,943
資本剰余金	5,113,499	5,115,069
利益剰余金	△8,685,687	△8,915,829
自己株式	△12,569	△12,614
株主資本合計	7,838,615	7,611,568
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△49,745	△48,736
その他の包括利益累計額合計	△49,745	△48,736
新株予約権	60,863	46,632
少数株主持分	25,792	21,711
純資産合計	7,875,526	7,631,175
負債純資産合計	17,430,853	17,086,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	3,366,218	3,879,144
売上原価	2,287,298	2,582,019
売上総利益	1,078,920	1,297,124
販売費及び一般管理費	1,123,977	1,069,127
営業利益又は営業損失(△)	△45,057	227,997
営業外収益		
受取利息	2,464	2,482
受取配当金	182	2
為替差益	22,080	—
持分法による投資利益	—	8,758
その他	11,060	6,509
営業外収益合計	35,787	17,753
営業外費用		
支払利息	47,515	42,871
為替差損	—	51,368
持分法による投資損失	51,769	—
開業費償却	24,319	24,319
その他	6,145	12,447
営業外費用合計	129,750	131,007
経常利益又は経常損失(△)	△139,020	114,743
特別利益		
新株予約権戻入益	—	13,590
特別利益合計	—	13,590
特別損失		
固定資産除却損	34	737
過年度決算訂正関連費用	—	69,467
課徴金引当金繰入額	—	137,910
特別損失合計	34	208,115
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純損失(△)	△139,054	△79,781
匿名組合損益分配額	47,545	119,611
税金等調整前四半期純損失(△)	△186,600	△199,393
法人税、住民税及び事業税	13,290	36,797
法人税等調整額	△1,967	△1,967
法人税等合計	11,323	34,830
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△197,923	△234,223
少数株主損失(△)	△2,431	△4,081
四半期純損失(△)	△195,492	△230,142

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△197,923	△234,223
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△23,801	1,008
その他の包括利益合計	△23,801	1,008
四半期包括利益	△221,725	△233,215
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△219,293	△229,134
少数株主に係る四半期包括利益	△2,431	△4,081

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△186,600	△199,393
減価償却費	173,991	169,746
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,058	1,399
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,116	25,025
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△22	△224
その他の引当金の増減額(△は減少)	△821	77,910
受取利息及び受取配当金	△2,646	△2,485
支払利息	47,515	42,871
為替差損益(△は益)	△17,474	69,584
持分法による投資損益(△は益)	51,769	△8,758
のれん償却額	46,929	46,929
繰延資産償却額	24,319	24,319
新株予約権戻入益	—	△13,590
売上債権の増減額(△は増加)	51,025	65,287
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	53,876	△27,364
たな卸資産の増減額(△は増加)	29,189	29,443
開発事業支出金の増減額(△は増加)	△21,064	△29,073
仕入債務の増減額(△は減少)	△19,494	△37,022
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△42,914	△11,166
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△60,569	2,821
その他の固定資産の増減額(△は増加)	288	486
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△5,736	△45,535
その他	43,973	△4,487
小計	175,593	176,724
利息及び配当金の受取額	228	444
利息の支払額	△47,698	△43,494
法人税等の支払額	△11,017	△36,294
営業活動によるキャッシュ・フロー	117,104	97,379
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△30,593	△54,066
無形固定資産の取得による支出	—	△1,963
投資有価証券の取得による支出	△1,852	—
投資有価証券の売却による収入	150	—
貸付けによる支出	△7,035	—
貸付金の回収による収入	—	23,482
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,331	△32,547
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△30,000	—
長期借入金の返済による支出	△107,632	△106,287
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	2,500
自己株式の取得による支出	△36	△45
自己株式の売却による収入	24	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△137,644	△103,833
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,079	△5,204
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△61,951	△44,205
現金及び現金同等物の期首残高	1,332,253	1,557,663
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,270,302	1,513,457

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	住宅等不動産 開発事業	霊園事業	証券投資 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,946,254	148,573	271,391	—	3,366,218	—	3,366,218
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,946,254	148,573	271,391	—	3,366,218	—	3,366,218
セグメント利益又は損失 (△)	△18,808	80,395	1,932	△7,008	56,511	△101,569	△45,057

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△101,569千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	住宅等不動産 開発事業	霊園事業	証券投資 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,309,283	139,610	392,453	37,796	3,879,144	—	3,879,144
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,309,283	139,610	392,453	37,796	3,879,144	—	3,879,144
セグメント利益	182,462	65,304	32,276	37,796	317,839	△89,841	227,997

(注) 1. セグメント利益の調整額△89,841千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。